

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成21年5月20日
第746号

〒952-1209 佐渡市千種155
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117
<http://www.kanai-es.ed.jp> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



風薫る5月。運動会や遠足等、外で活動することが多くなってきました。子どもたちに楽しい思い出が増えるといいですね。しかし、季節はずれのインフルエンザがはやっています。マスクや手洗い等の予防はもちろん大切ですが、規則正しい生活をして抵抗力を高めておくことも大切です。大人も子どもも気を付けたいものですね。

親の会再考

教室の本棚を整理していた時のことです。「Z S Z ことば全国言語障害児をもつ親の会」と書かれた薄い1冊の冊子が目に留まりました。その冊子の中で、国立特殊教育総合研究所の大石益男氏が、親の会の意義について以下のように述べています。

- ①親の会は自分を語り、自分の子どもを語る場。
- ②お互いの子育てを見つめ合う場。
- ③専門家同士を結びつける場。
- ④啓蒙活動としての場。

25年前の冊子ですが、今の親の会の在り方に通じる大切なことばだと思いました。

「佐渡ことば・難聴教室 親の会だより第1集」にも、言難親の会会長の今井清子さんが、「親同士の安らぎ、学習の場として、丈夫で長持ちのする横糸になりたいものです。」と発刊に寄せて書いてくださっています。

今年度の親子レクリエーション・親の会総会が5月10日に行われました。10月17日(土)の佐渡ことば・こころの教室開設40周年記念式典・講演会では、親の会OBの皆様、現会員の皆様からのお力添えをいただくことになると思います。どうぞ、よろしく願います。(山口)



2年目の抱負

巡回指導校で、校長先生とお話をした時のことです。構音指導をしているお子さんについての話です。そのお子さんは日常生活ではまだまだですが、ことばの教室での練習中には目的の音がたくさん出せており、練習した音が日常会話の中へ広がることを期待しているのだと話すと、「よい指導をしてるんですね。」と言われ有難く思いました。しかし、どの子も必ず伸びる力をもっているのです。私たちはそれを引き出したり確かめたりするお手伝いをしているに過ぎないのです。学生の頃にコメニウスの『階段のつくり方が正しく、いたんでもなく、しっかりしていて、危険がなければ、だれもがどんな高いところへでも、のぼっていける』という言葉を知りました。発達の道すじを階段にたとえどの子も必ず発達する力を内に秘めているという意味で、私はいつもこの言葉を心に留めています。のぼり方やのぼる早さは一人ひとり違いますが、私はのぼるお手伝いを一生懸命にしていきたいと思えます。ことば・こころの教室担当2年目の、私の抱負です。(金子)



お知らせ拡大版



親子レクリエーション・親の会総会・通級説明会がありました

5月10日（日）に、今年度最初の行事がありました。

親子レクリエーションは、鼓童のプレイヤーの方を講師に、太鼓体験を行いました。ボランティア、職員も合わせて総勢94名が金井小学校の体育館に集まりました。年齢や個性の多様な子どもたちに対し、分かりやすく、そして楽しく指導をしてくださったおかげで、とても楽しい時間を過ごすことができました。

太鼓体験の途中から、親の会総会が行われました。総会では、今年度の役員、事業、予算が承認されました。御参加くださった会員の皆さん、どうもありがとうございました。そして、講師をしてくださった鼓童の宮崎様、荒井様、ありがとうございました。また、ボランティアとして参加してくださった、佐渡看護専門学校・伝統文化と環境福祉の専門学校・両津高等学校の生徒の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

最後に、今回レクリエーションに参加していただいた保護者・ボランティアの皆さんの感想の一部を紹介します。

保護者

◇ 今年度、多くの保護者の方が集まり良かったと思います。参加しなければ分からない事なのでこれからも多くの保護者の方に参加してもらえたらいいと思いました。（I・H）

◇ 親子レクの途中で親は総会に参加したので、親子で一緒に楽しんだり、他の会員の方との交流したりする時間があつたらいいなと思いました。（A・K）

ボランティア

◇ 今回初めてボランティアに参加させていただきました。私は将来、先生と音楽療法士を目指しています。今回の体験でその2つの夢を是非叶えたいという気持ちが高まりました。あまり力にはならなかったと思いますが、私自身はたくさん学ぶことができました。（高校生ボランティアの方）

今年度の対象者について

今年度の指導対象者は123名で、障害別対象者は次の通りです。

・構音障害	29名
・言語発達遅滞	31名
・吃音	13名
・口蓋裂	1名
・選択性緘黙	2名
・LD	8名
・ADHD	6名
・広汎性発達障害	26名
・情緒障害傾向	6名

第1回運営委員会が開催されます

今年度第1回運営委員会が、6月5日（金）に金井小学校で行われます。限られた予算の中で、今年度も事業の充実に向けて取り組めますようご審議の程お願いします。運営委員の皆様、よろしくお願ひいたします。

子育てワンポイントアドバイス

感情のコントロール力を伸ばす
「切りかえことば」

【いたいの いたいの とんでいけ】
子どもが転んだり、何かにぶついたりして、痛い思いをした時に言う「いたいの いたいの とんでいけ」と言いながら痛い場所をこすってあげると、子どもは気持ちを切りかえて新しい活動に向かえるようになります。このような気持ちを切りかえ方を大人は教える必要があります。

（湯汲 英史「切りかえことば」より）

